

✿・°:✱各検査項目について✿・°:✱

～12週～

血液検査

- ✱ 血液型(ABO・Rh) 分娩時に大量出血を起こす可能性があるため事前に検査が必要です。
- ✱ 不規則抗体 血液に対する特殊な抗体の検査です。赤ちゃんの黄疸の原因になることがあります。
- ✱ HBs抗原(B型肝炎) 母体から赤ちゃんへ感染する危険があるため事前に検査が必要です。
- ✱ HCV抗体(C型肝炎)
- ✱ 梅毒(TPHA) 母子健康法で義務付けられた検査です。
- ✱ 風疹抗体 妊娠初期に感染すると赤ちゃんが先天性の病気になる可能性があります。
- ✱ HIV エイズの検査です。
- ✱ 貧血(血色素・血小板) 妊娠中は赤ちゃんへ多くの鉄分を供給するので貧血に傾きやすくなります。
- ✱ 血糖 妊娠糖尿病を合併すると赤ちゃんに巨大児などの異常が出ることがあります。

子宮がん検診: 早期発見・早期治療のために検査が必要です。(受診券があります)

～20週～

クラミジア: 多くは無症状です。まれに早産や破水の原因になることがあります。(受診券があります)

～24週～

HTLV: 母乳によって感染する白血病ウイルスの検査です。(受診券があります)

貧血・血糖検査

～36週～

B群溶血性レンサ球菌(GBS): 赤ちゃんへ感染すると、肺炎や髄膜炎を起こす危険性があります。

～37週～

貧血・血糖検査

～37週以降～

NST: 赤ちゃんの心臓の音を聞いて元気かどうかを調べます。同時にお腹の張り具合も調べます。

